

令和4年1月21日

一般社団法人 ICT CONNECT 21 会員企業 様

一般社団法人 ICT CONNECT 21  
学習指導要領コードの利活用に関する調査研究事業

## 学習指導要領コードの利活用に関する実証テスト参加及びアンケートご協力をお願い

平素は当会へのご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、当会は文部科学省様より令和3年度「学習指導要領コードの利活用に関する調査研究事業」を受託し、調査研究を進めてきたところです。

本事業は、学習指導要領コード<sup>1</sup>が、官民の保有する教育に関するデジタルコンテンツに付与され、相互に連携・活用可能なデータが増え、実際に活用され、新たな価値を生む好循環を創出することを目指しています（別添1参照）。また、学習指導要領コードの活用により、将来的にどのような具体的な価値の創出が考えられるか、事業者、研究者及び教育委員会等に対してヒアリングを行った結果、例えば別添のようなユースケース（具体的な将来像）があり得るとの示唆を得たところです（別添2参照）。

今回お願いするのは、学習指導要領コードの利活用の具体的な将来像を設定し、将来像達成の課題を洗い出すため、**本事業で実証テストのために開発したシステムを実際に利用していただき、実際に教育に携わる事業者の皆様から忌憚のないご意見を賜りたいものです。**

本実証テストでは、本事業で作成した学習指導要領コード付与支援システムにて、**御社が保有するコンテンツへの学習指導要領コードの付与を無料にて体験していただけます。**また、**頂いたご意見は当会にて取りまとめの上、文部科学省に報告し、将来の教育行政に役立てられることとなります。**学習指導要領コードの自社コンテンツへの付与に興味関心がある会社様は、是非とも本事業へのご理解を賜り、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

具体的な実証テスト及びアンケートの進め方については、**実証テスト実施要領**をご覧ください。

なお、回答について、事業者名・回答者名が分かる形で第三者に提供／公開されることはありません。

---

<sup>1</sup>文部科学省が教育データを効果的に利活用するための環境整備の一環として公表した、学習指導要領1つ1つの項目に付与した16桁の文字コード

# 学習指導要領コードを通じた価値の創出イメージ

## 好循環を通じた価値の最大化

### 活用の促進

オープンデータAPI  
(試行開発)

連携支援サイト  
(試行開発)

### 付与の負担軽減

学習指導要領コード  
付与支援システム  
(試行開発)

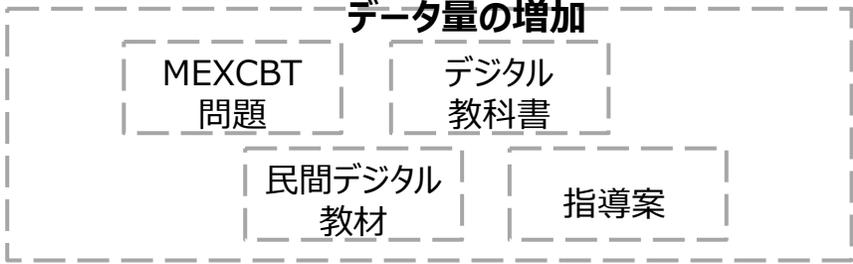
学習指導要領コード及  
び  
関連するオープンデータの  
改善・充実

活用 (サービス開発等)      付与

活用イメージ  
の具体化

相互に連携・活用可能  
な

データ量の増加



# 学習指導要領コードのユースケース (2022/1/26時点)

---

本ユースケースはヒアリング等で提起されたアイデアをイメージ化したものであり、必ずしも具体化を示唆するものではありません

# (事例イメージ) 教科等横断的な学びと教科学習とを往還する学びの実現

## 学習指導要領コードの活用

### 現状

STEAMなどの教科等横断的な学習と各教科での学びとの結び付きが、学習者にとって見えづらい場合がある。



実社会の課題などをテーマに教科等横断的な学びを進める中で、教科書・教材等の関係部分に学習者が容易にアクセスできることなどを通じて、学習者が、実社会の課題を入口として、各教科の学びとの関係性をより実感しながら学ぶことが可能になるのではないか。

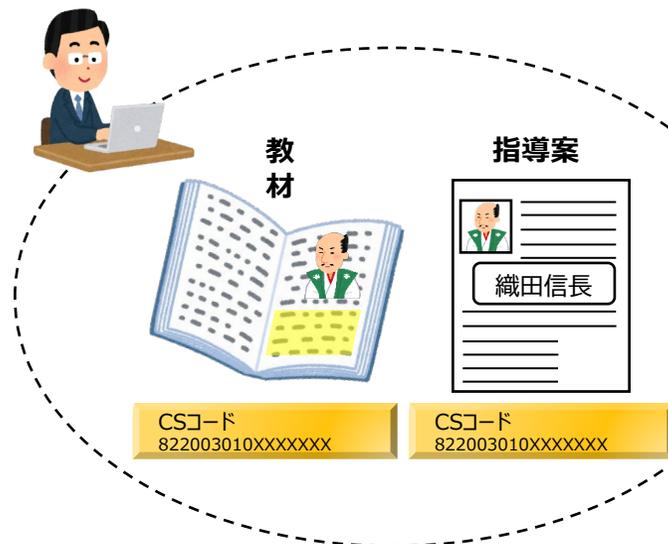


学習指導要領コードの活用

**現状** 現在、学習指導要領解説や評価規準は**文科省ウェブページ等で公開されているものの、**教員が指導計画等を検討する際に、指導計画等と照らし合わせながら**確認するには手間がかかる。**

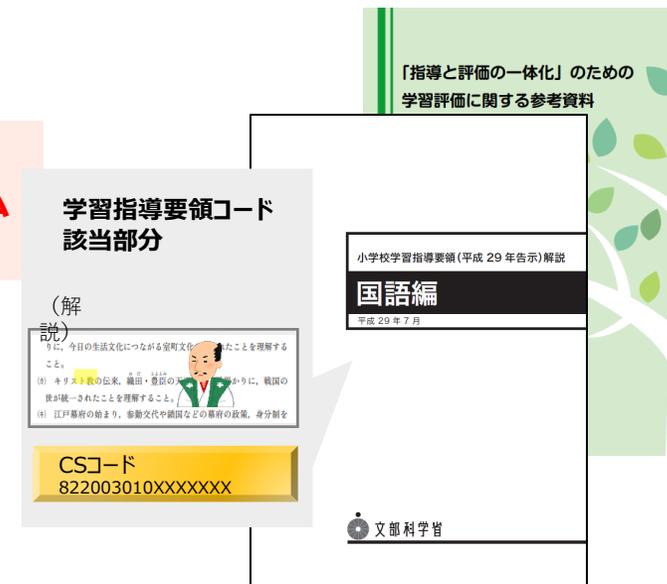
教材や指導案等の共有サイト等において、**個別のコンテンツに学習指導要領コードが付与され、対応する指導要領解説や評価規準等に容易にアクセスできる環境ができることで、**教員がカリキュラムマネジメントの一環として指導案等を検討するにあたり、**学習指導要領解説や評価規準等に簡便に立ち返りつつ、改めて指導の趣旨や目的、評価等について推敲する一助となる**のではないか。

教材・指導案等の共有サイト等



学習指導要領コードを介して  
容易にアクセスでき、カリキュラム  
マネジメントの一助に

学習指導要領解説等

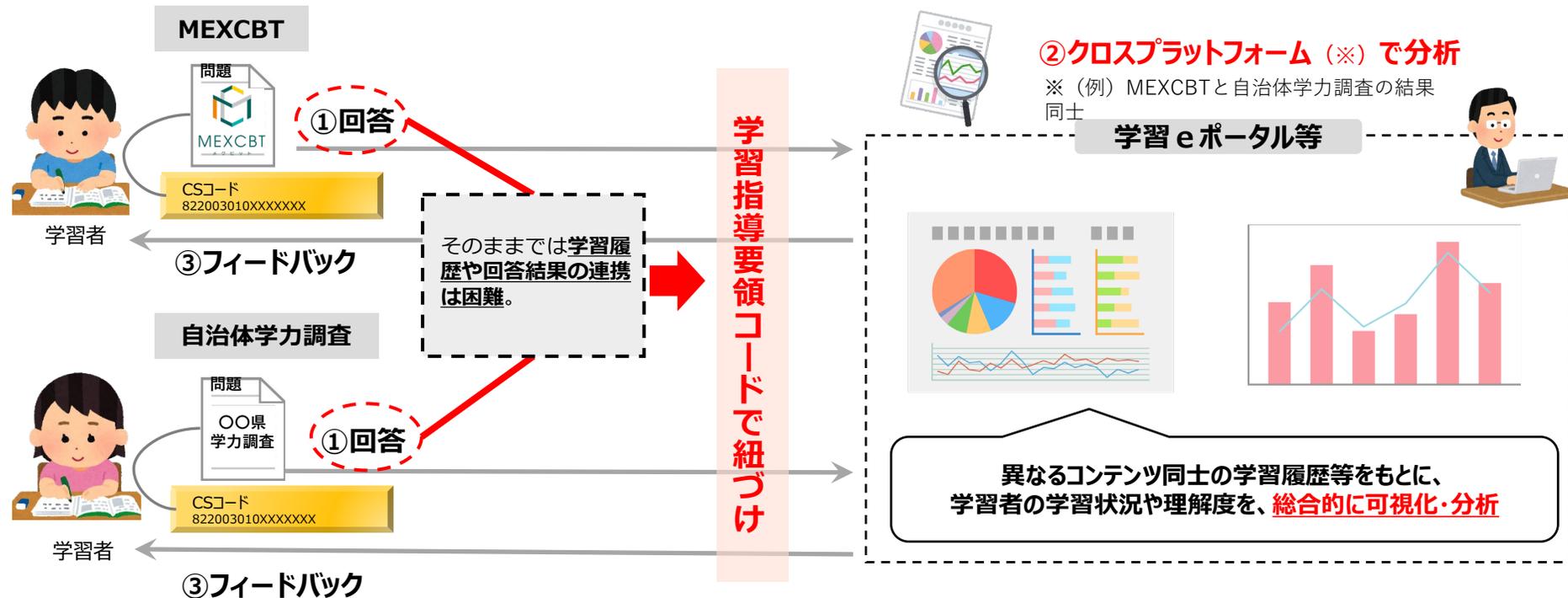


## (事例イメージ) 学習履歴の可視化

### 学習指導要領コードの活用

**現状** 学校で使用される教材等はそれぞれ独立しているため、教材等をまたいで学習状況等を把握することは困難。

例えば、MEXCBTと自治体学力調査など、異なる教材やテストの結果等について、学習指導要領コードで紐づけることによって、総合的に分析することが可能となり、教員が児童生徒一人ひとりについて、よりきめ細かい理解を得ることに資するのではないか。

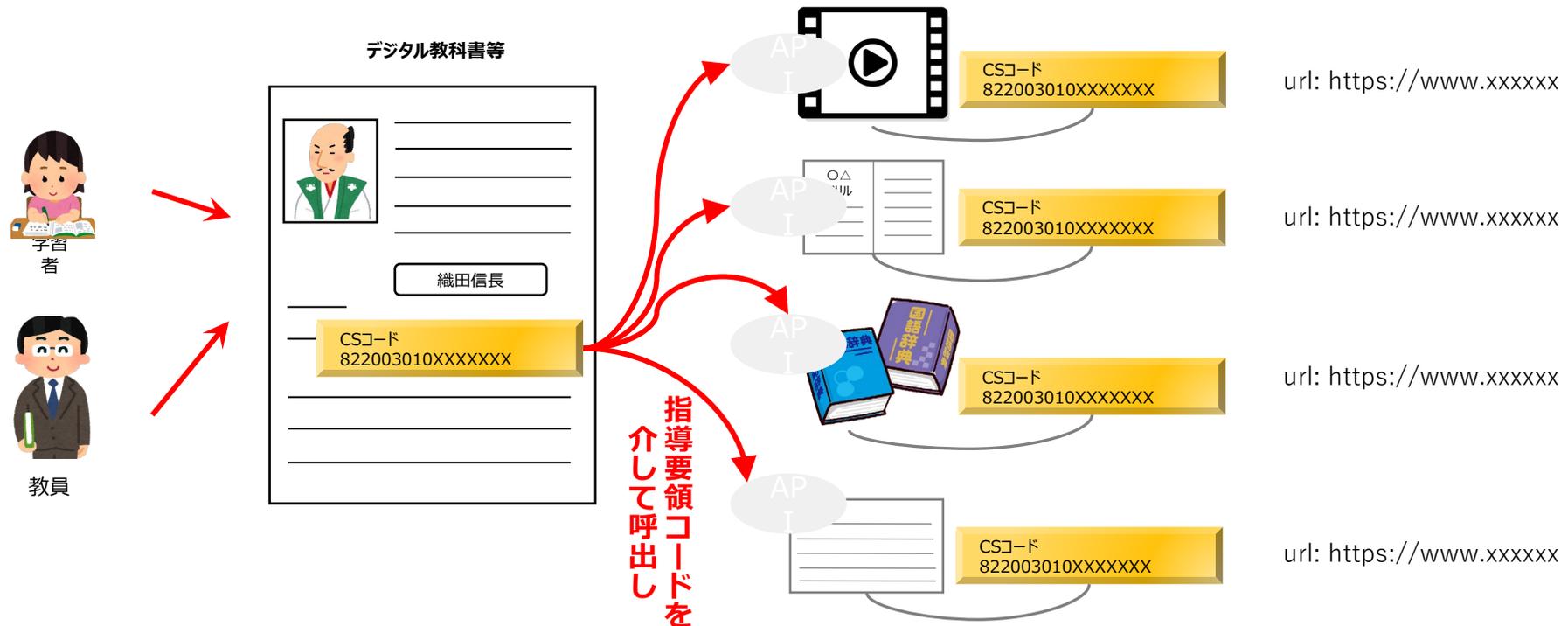


## (事例イメージ) デジタル教科書等による関連コンテンツの参照

### 学習指導要領コードの活用

**現状** 各事業者が提供する学習コンテンツが、教科書や教材のどの単元に相当するのかが分かりづらい

▶ コンテンツホルダーが、自社コンテンツに学習指導要領コードを付与した上で、学習指導要領コードと対応するコンテンツのURL等をAPIで公開することで、デジタル教科書等から単元に関連するコンテンツを提示することが可能になるのではないか。



## (事例イメージ) 全国の学校における年間指導計画等の集約・オープンデータ化

### 学習指導要領コードの活用

**現状** 各学校においては、教員がそれぞれに各教科の指導計画や指導案を作成している。

▶ 学校・教員が、学習指導要領コードを付与された年間指導計画や指導案等を共有・検索可能とすることで、他の学校での実践等を参考にすることなどによるカリキュラム・マネジメントの改善に寄与することができるのではないか。

